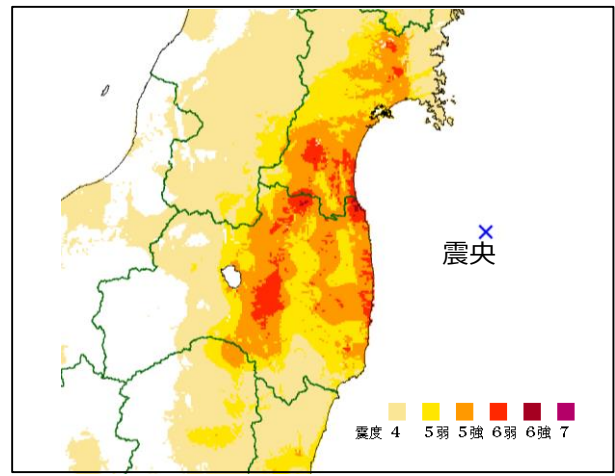


- 2月13日(土)23時08分、福島県沖を震源とした地震が発生。福島県等で最大震度6強を記録。
 - 福島河川国道事務所として、迅速に管理施設の点検に入り、1回目の点検を4時17分に終了、夜が明けてからの2回目の点検を14時00分に終了し、大きな異常が無いことを確認。
 - 他、県・市町村へのリエゾン※の配置や、物資輸送等による支援を実施した。
- ※リエゾン：災害対策現地情報連絡員。リエゾンとはフランス語で「つなぐ、橋渡し」という意味。大きな災害の際に、自治体へ情報収集、連絡要員として職員を派遣する。

地震・被害の概要



推計震度分布図（気象庁より）

- 震度（福島県内）
 - 6強：国見町、新地町、相馬市
 - 6弱：福島市、郡山市、須賀川市、伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、天栄村、南相馬市、広野町、楡葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町

- 被害
 - 人的被害：重傷者4人、軽傷者79人
 - 家屋被害：一部破損1,410棟

※震度：気象庁HPから引用
 ※被害：「令和3年2月13日震度6強及び2月15日暴風警報による被害状況（第9報）」（福島県）から引用

人的支援

リエゾン先	延べ人数
福島県	6
国見町	4
二本松市	3
福島市	1
伊達市	
本宮市	
桑折町	
川俣町	



リエゾン活動状況（福島県庁）

物資等、自治体支援



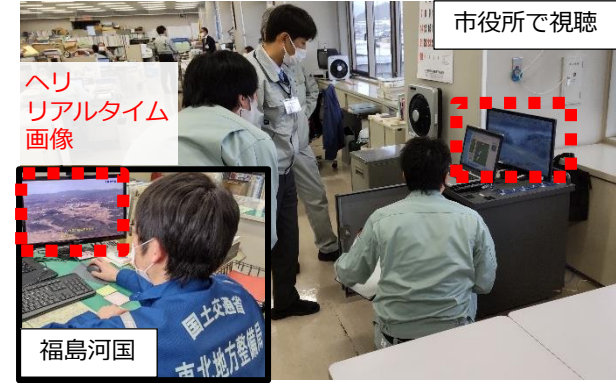
自治体へのブルーシート輸送



Ku-SAT



Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)を設置し被災箇所の監視を可能に



市役所で視聴

ヘリリアルタイム画像

福島河川国道事務所

国交省ヘリの被災箇所調査をリアルタイムで自治体と共有